

福島第二原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和5年11月17日（金）
- 2 確認箇所
4号機原子炉建屋
- 3 確認項目
非常用ディーゼル発電機起動試験の状況

4 確認結果の概要

福島第二原子力発電所は現在廃止措置中であり、1号から4号までの全ての原子炉は停止している。一方で原子炉建屋では使用済燃料プールにおいて熱と放射線の発生が続く使用済燃料を冷却しているほか、未使用の新燃料を貯蔵している。外部電源を喪失した際は、非常用電源設備により冷却が維持される。

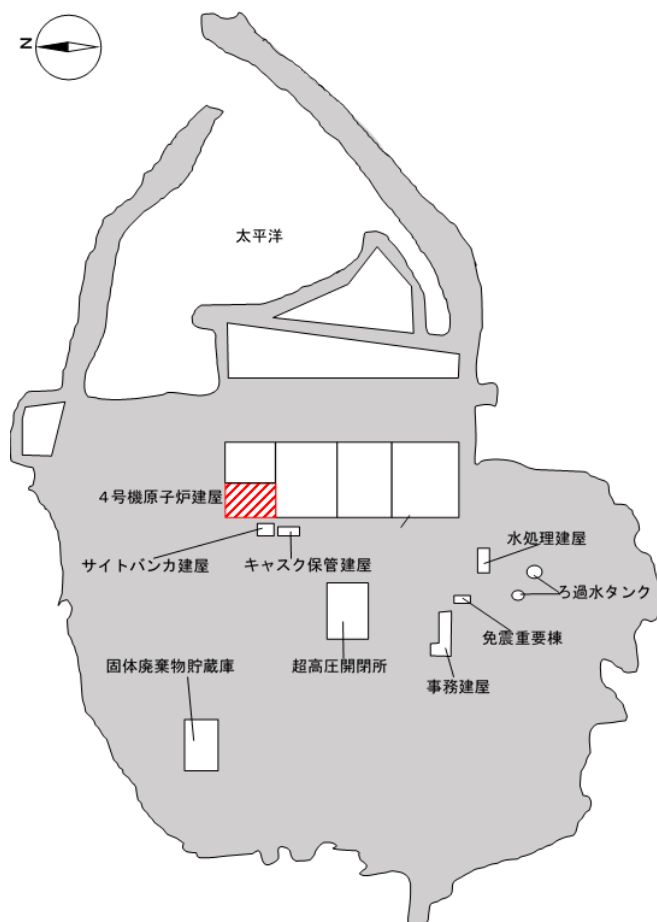
東京電力は、本年8月から福島第二原子力発電所4号機の定期事業者検査を実施しており、その中で、非常用の電源設備である非常用ディーゼル発電機の運転性能検査が行われたため、その検査状況を確認した。（図1）（前回確認：令和5年9月1日）

なお、平成23年の東日本大震災の際、福島第二原子力発電所では非常用ディーゼル発電機の全12基中9基が、津波の浸水もしくは冷却系電源盤やモータの設備被害により、機能喪失に至った。今回確認した4号機非常用ディーゼル発電機はその際にも機能喪失していないとのことだった。建屋の津波対策としては建屋に浸水防止対策がなされている。

- ・今回確認した4号機ディーゼル発電機（B）は、ディーゼルエンジンと発電機によって構成されおり、4号機原子炉建屋の地下1階にある。

（写真1）

- ・起動試験前、東京電力の運転員二人が設備の状況に異常がないか目視及び計器数値の確認を行っていた。
- ・ディーゼル発電機を起動した後、無負荷運転、75%運転、100%運転と負荷を上げて試験が行われ、100%運転後に、運転員が計器数値の確認や、油漏れ等の異常がないか設備の状況を確認していた。（写真2）



(図1) 福島第二原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
非常用ディーゼル発電機



(写真 1 - 2)
発電機の状況



(写真 2 - 1)
起動後に計器を確認している状況



(写真 2 - 2)
起動後の確認状況